

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS 犬山校		
○保護者評価実施期間	令和6年8月23日		～ 令和6年9月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和6年8月23日		～ 令和6年8月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・安心して通所されていること。	・個別での対応となるので1対1で職員が必ずついて支援しています。	これからも安心感を得られるように支援していきます。
2	・原始反射の統合に向け専門的な内容のトレーニングを行っていること。	・アセスメントを基にプログラムを1人ずつ作成しています。	・お子様に合ったトレーニングは何か引き続き職員同士で話し合いながら考えていきます。 ・トレーニングの内容も新しいものを考えていきます。
3	・定期的に研修を行っていること。	・2か月に一度虐待防止研修、身体拘束適正化のための研修を行っています。 ・3か月に一度感染症対策研修や半年に一度感染症対策訓練を行っています。 ・1年に一度安全対策研修、救命救急講習を行っています。	・これからも定期的に研修を行っています。 ・必要に応じて外部で行われる研修にも参加していき知識を深めることで支援に繋げていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援の内容について細かく説明が出来ないこと。	・支援内容については毎回職員が説明していますが、時間が限られているため内容全ての説明する時間の確保が難しいです。	・必要に応じて面談時や家族支援加算等で説明させていただきます。
2	・保護者様とゆっくりお話しする機会をご利用時に作れないこと。	・面談や会議、療育の準備等で時間を割くことが難しい時があります。	・事前にご要望がありましたら時間を作り対応していけるよう努めてまいります。
3	・お子様が事務室の扉を開けて入ってしまうこと。	・鍵が常に開いているので簡単に開けることが出来てしまいます。	・必要に応じて鍵をかけます。 ・外側から鍵をかけることが出来ないか検討中です。

公表

放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 S.I.C.KIDS 犬山校

公表日 令和6年 12月 27日

利用児童数 40人(きょうだい児4組)

回収数 21

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1				・職員同士で話し合いながら教具の位置や使用するスペース等をこれからも考えていきます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21				・子供1人に職員が1人ついていただいでいてとてもよく見てくれています。 ・個別で指導いただけるのはありがたいです。	・ありがとうございます。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	2			1	・視覚的にも分かりやすい環境だと思います。	・ありがとうございます。お子様に合わせて視覚的な支援を行っていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21					・いつも楽しく利用させていただいています。 ・とてもキレイに整えていただいています。	・日々掃除・消毒・整理整頓を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20				・毎回色んな活動をして下さっています。 ・子供の様子を注意深く見て下さりステップで達成感が得られる支援が受けられています。	・ありがとうございます。今後もお子様の状態に合わせて支援していけるよう努めてまいります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	2				・支援内容に合った支援プログラムを今後も取り組んでいきます。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					・面談時日々の困り事にも細かく対応いただいた内容になっていると思います。	・ありがとうございます。今後も客観的に分析し個別支援計画を作成していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21						・具体的な支援内容を設定しています。ただ4月から始まった項目もあり手探りな所はあります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21						・計画に沿った支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19			1	1	・慣れてくると目新しさがなくなってしまうかなさそうにしている時があります。 ・毎週異なるトレーニングをしています。	・固定化しないよう工夫しています。 ・新しい療育の提案も行っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	2	4		7	・交流の場としては利用を想定していません。 ・通わせている目的が個別のトレーニングの為に良いと思います。	・ご要望に沿って検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					・今後も丁寧な説明を心がけていきます。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					・支援内容については計画書の作成や更新の際に説明しています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18				3		・公式LINEを活用して情報提供しています。 ・今後も検討していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	19	1			1	・毎回フィードバックの内容から子供のことをよく見てポジティブな声掛けをしていただいています。	・送迎時や支援の終了時に保護者様と直接お話をさせていただく中で、情報の共有を、共通理解ができるようにしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18			1	2	・利用して間もないのでこれから行ってくださると思います。	・定期的に面談を行っております。 ・何かお話ししたいや相談ことがありましたらいつでもお声がけください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	2			1		・これからも共感的に支援していけるように心がけていきます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1		3	9	・保護者会等の開催はないですが、コーチの方と密に連携が取れており情報共有が出来ていると感じます。	・ご要望に沿って検討していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	2		1		・事前にお声がけをしていただけると対応出来ますが状況によっては対応することが難しいので、事前にお声掛けいただけるように周知します。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20			1		・意思の疎通や情報伝達が円滑にしているよう心がけていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1		3		・公式LINEやInstagramを活用して情報発信を行っています。 ・自己評価の結果は今回が初めてになりますので発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			1		・鍵付きの書庫に保管し、十分注意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19			2		・マニュアルは作成したものを玄関に置いてあります。 ・必要に応じて説明させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20		1			・定期的に避難訓練を行う予定でスケジュールを組んであります。 ・訓練を行う場合は事前に保護者様にお伝えしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	2				・安全を確保して支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1		2	・怪我をしたことがないので分かりません。	・迅速で適切な対応をこれからも心がけていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21				・新しい場所に変更になってからも積極的に声をかけていただき、すぐ馴染めたと思います。	・ありがとうございます。職員の励みになります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1		1	・毎回とても楽しみにしております。 ・毎週とても楽しみにしています。 ・とても楽しみにして行く前に嫌な事があっても気持ちリフレッシュ出来るようです。	・ありがとうございます。職員の励みになります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20			1	・いつもありがとうございます。 ・とても丁寧に見ていただいて感謝しています。	・ありがとうございます。これからも満足していただけるよう職員一同努めていきます。

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

事業所名		S.I.C.KIDS 犬山校		公表日		令和6年 12月 27日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○		・規定に準じた職員数を配置しています。 ・変更があればお伝えしています。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			○	・段差には転倒防止対策として目立つ色のテープを貼り分かりやすくしています。 ・段差があるため安全に配慮しながら支援しています。	・構造上バリアフリー化が難しくトレーニングルームに向かうまでに段差があります。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		・毎日掃除をしています。 ・利用児童にわかりやすいように、教具の整頓をして写真や名前シールなどで視覚的に分かりやすくしています。	・これからも毎日掃除・消毒・整理整頓を行っていきます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		・利用児童の様子や調子に合わせて別室を使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		・より良い支援ができるように業務改善を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		・保護者様から提出いただいた評価表を見て業務の改善を行っています。	・業務改善を意識しながら業務を行っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		・ミーティング等での意見交換の場を設けています。	・引き続き毎朝のミーティング等で意見交換の場を増やし、業務改善に繋がっていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				・外部からの評価を受けていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		・法人内の研修や外部研修に参加しています。	・今後も参加していき、知識を深めていきます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		・利用児童に合わせて個別にプログラムを作成しています。 ・支援終了後、保護者様とお話をする時に一緒に見て話をしています。	・支援プログラムが偏らないよう今後も配慮していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		・保護者様へのアセスメントや原始反射のチェックシートを元に作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		・職員間で話し合っ支援計画の作成に努めています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		・支援計画書の内容を要約したものを個々のプログラムが保管されているファイルに貼ることでニーズや計画内容の共有をしています。	・個別支援計画書が細分化されているため必要な情報を抜き出して共有できるように努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○			・フォーマットの改善をこれからも行っていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		・具体的な支援内容が設定されています。	・支援内容については情報共有を行い、支援内容に沿った支援を提供し続けていけるよう意識を向けていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		・支援会議を開催する際に活動プログラムについても話し合っています。 ・日々の支援の振り返りの時に話し合う時もあります。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・偏りが出ないよう一人一人に合ったプログラムの作成を行っています。	・新たなプログラムの立案ができるよう努めてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	・集団活動に適応するための個別支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝ミーティングを行い確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・翌日のミーティングで共有しています。 また、個々の利用児童の記録を作成し情報共有を行っています。	・当日に振り替える時間を確保することが難しいため、翌日に行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援終了後や翌日に行っています。 ミーティング等で話し合い、改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しし必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングを行っています。 状況に応じて半年より前に行う場合もございます。	・適切な見直しを行っていただけるように努めてまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		・イベントとして芋堀をして参加を呼びかけています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・一人一人に合った支援を心がけています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・積極的に参加しています。 ・必要に応じて職員と情報共有を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・体制を整えることが出来ています。	・必要に応じて情報共有を行っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○	・送迎がないことや学校と関わる機会がほとんどないため行っておりません。	・保護者様と連携し、必要に応じて情報共有をしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	・サービス担当者会議で情報共有を行っていますが全員ではありません。	・必要に応じて情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	・現在、該当する利用児童はみえません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	・地域の児童発達支援センターとの連携はありません。	・必要に応じて連携していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・現在交流はありません。	・必要に応じて検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・可能な限り参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・支援終了後に保護者様とお話しし、情報共有をしています。 ・自宅でも出来ることもお伝えしています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・公式LINEにて案内をしています。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に保護者様が分かるように様に丁寧に説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・支援計画書を作成する際は保護者様と話をする場を設け意見を確認し、作成しています。 ・お子様には来所時に話を聞き、支援計画書に反映しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・支援計画書を作成した後は、必ず説明を行い同意していただいています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・半年に一度面談を行っています。その他に、保護者様から要望があればその都度面談を行っています。 ・悩み等を相談していただけるよう掲示をしたりご案内したりしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・イベントを定期的に行っています。その際は利用児童やごきょうだい、保護者様なども参加できるように案内しています。	・積極的に保護者様同士で交流する機会を設けているわけではありませんが、イベントに参加していただいて交流を深めて頂ければと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・迅速な対応を心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・公式LINEを使って行事や予定をお伝えしています。 インスタを活用して教具やトレーニングの案内をしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付きの書庫で保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・可能な限り配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域の方を招待する行事の実施はしておりません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・発生を想定した訓練を定期的に行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・訓練を行う予定です。	・BCPの訓練に関しては今年度中には訓練を行います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・服薬については、面談やメッセージボード等を利用して保護者様から伺っております。 ・てんかんの発作がある児童の利用がありません。	・事業所内での情報共有を心がけていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			・食事の提供はありません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画の作成をし、玄関に置いてあります。 ・研修や訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・避難訓練を行う際は事前にお伝えしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事業所内で共有し、必要に応じて話し合いを行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・偶数月や新人職員が入った月に必ず研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・支援計画書に記載し、説明時に必ずお伝えしています。		